

相談援助の基盤と専門職

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト 福祉士養成講座編集委員会(編)
『新・社会福祉士養成講座第6巻 相談援助の基盤と専門職 第3版』中央法規出版 2015

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義や専門職の概念と範囲及び専門職倫理を理解します。さらに、相談援助の歴史的形成過程から、理論と実践により獲得してきた理念を学びます。

そのことから、今日求められている地域を基盤とした「総合的かつ包括的な相談援助」の全体像を理解し、相談援助の基盤となる専門的機能の内容を学び、専門職としてのあり方を考えていきます。

全体を通して、相談援助の専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになります。

添削課題は、テキストを基本として作成しています。各章に該当するテキスト巻末の索引を利用して、テキストを活用しながら添削課題に取り組み、全体を把握するようにしてください。

到達目標

- 1) 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について説明できる。
- 2) 相談援助の概念と範囲について説明できる。
- 3) 相談援助の理念と権利擁護の意義と範囲について説明できる。
- 4) 相談援助に係る専門職と専門職倫理について説明できる。
- 5) 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 社会福祉士の役割と意義

この章ポイント

社会福祉士および精神保健福祉士の役割と意義について概観する。地域を基盤としたソーシャルワークが必要となってきた背景を理解するために、現代社会と地域生活の概要を学ぶ。

第2章 相談援助の定義と構成要素

この章ポイント

ソーシャルワークの定義を学ぶことによって、ソーシャルワークの目的を理解し、ソーシャルワークの介入や活動範囲、さらにソーシャルワークを構成する要素について学ぶ。

第3章 相談援助の形成過程Ⅰ

この章ポイント

ソーシャルワークが発展してきた源流およびソーシャルワークの基礎確立期について理解を深める。

第4章 相談援助の形成過程Ⅱ

この章ポイント

1940年代以降のソーシャルワークの展開について学び、総合的かつ包括的な相談援助につながる専門職化への道程、統合化の歩み、ジェネラリスト・ソーシャルワークの成立について理解を深める。

第5章 相談援助の理念Ⅰ

この章ポイント

ソーシャルワーク実践における価値について学び、人権尊重、社会正義、権利擁護等の価値基盤について理解する。

第6章 相談援助の理念Ⅱ

この章ポイント

ソーシャルワーク実践において重要となる理念（クライアントの自己決定、自立支援、エンパワメント、ストレングス視点、ノーマライゼーションと社会的包摂等）について学ぶ。さらに、それぞれの理念をソーシャルワーク実践と結びつけて理解する。

第7章 専門職倫理と倫理的ジレンマ

この章ポイント

専門職倫理の概念、日本社会福祉士会倫理綱領および全米ソーシャルワーカー協会の倫理綱領の内容と意義と活用のあり方について学ぶ。さらに、倫理的ジレンマにおける倫理的判断過程について理解する。

第8章 総合的かつ包括的な相談援助の全体像

この章ポイント

総合的かつ包括的な相談援助が求められる背景、基本的視座、機能について学ぶ。総合的かつ包括的な相談援助の特質として、本人の生活の場で援助を展開すること・援助対象者を拡大していくこと・予防的かつ積極的な支援をすること・ネットワークにおける連携と協働を行うことが必要であることを理解する。

第9章 総合的かつ包括的な相談援助を支える理論

この章ポイント

ジェネラリスト・ソーシャルワークやその特質（点と面との融合、システム思考とエコシステム、本人主体、ストレングスパースペクティブ、マルチシステム）について理解を深める。

第10章 相談援助にかかる専門職の概念と範囲

この章ポイント

専門職の成立条件や、ソーシャルワーカーの専門職としての独自性や専門領域、また、職能団体の役割や活動について学ぶ。さらに、さまざまな分野ではたらく相談援助専門職について理解を深める。

第11章 総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能

この章ポイント

総合的かつ包括的な相談援助の具体的展開について、事例を用いて理解する。